

院内フォーミュラリ（抗インフルエンザ薬）

効能・効果	第一選択薬	第二選択薬
インフルエンザウイルス 感染症	オセルタミビルカプセル75mg※ ¹ オセルタミビルドライシロップ3%※ ¹	イナビル吸入粉末剤20mg※ ² ゾフルーザ10mg/20mg※ ³
	経口投与、吸入ができない重症例	
	ラピアクタ点滴静注用バイアル150mg	

※1：多くの使用実績があること、後発品があり最も安価なため、第一選択とする

※2：対象患者にとって単回投与の有益性が高い場合には、吸入操作が可能であれば選択することを推奨する

※3：12歳未満の患児への投与は「日本小児科学会：2024/25 シーズンのインフルエンザ治療・予防指針」を参照

～ 抗インフルエンザ薬一覧 ～

製品名	オセルタミビルカプセル75mg オセルタミビルドライヴアップ3% (ドライシロップ1g中 オセルタミビル30mg含有) 先発品：タミフル	ゾフルーザ錠 10mg/20mg	リレンザ5mg	イナビル 吸入粉末剤20mg	ラピアクタ 点滴静注用バイアル 150mg	
一般名	オセルタミビル	バロキサビル	ザナミビル	ラニナミビル	ペラミビル	
薬価	75mg 1カプセル 111.6円 3% 1g 82.40円	10mg 1錠 1,535.4円 20mg 1錠 2,438.8円	5mg 20ブリスター 3,412.0円	20mg 1キット 2,179.5円	150mg 15mL 1瓶 3,400.0円	
採用区分	院内・院外	院内・院外	院外	院内・院外	院内	
投与量	成人	2カプセル / 【分2】 5日分	【12歳以上】 80kg未満 20mg 2錠 / 【分1】 80kg以上 20mg 4錠 / 【分1】	20ブリスター 1日2回 1回2吸入 (5日間)	【10歳以上】 2キット 1日1回 1回4吸入 (単回投与)	300mgを15分以上 かけて単回点滴静注 ※重症化するおそれのある 患者の場合は倍量投与
	小児	オセルタミビルとして 4mg/kg / 【分2】 5日分 1歳未満の患児の場合 6mg/kg / 【分2】 5日分	【12歳未満】※ 10kg以上20kg未満 10mg 1錠 / 【分1】 20kg以上40kg未満 20mg 1錠 / 【分1】 40kg以上 20mg 2錠 / 【分1】 (すべて単回投与)		【10歳未満】 1キット 1日1回 1回2吸入 (単回投与)	10mg/kgを15分以上かけ て単回点滴静注
腎機能障害時 の投与量	10 < Ccr ≤ 30 1カプセル / 【分1】 5日分 透析患者 1カプセル / 【分1】 1日分	減量不要	減量不要	減量不要	30 ≤ Ccr < 49 1日1回 100mg 10 ≤ Ccr < 30 1日1回 50mg	
妊婦 授乳婦	○ ○	× ×	○ ○	△ ○	△ ○	
予防投与 ※自己負担	成人	1カプセル / 【分1】 7～10日分 10 < Ccr ≤ 30 1カプセル / 【分1】 隔日投与 透析患者 初回 1カプセル 2回透析後 1カプセル	治療量と同様 10mg錠には適応がない ↓ 20kg未満の 小児には投与不可 【12歳未満】※	20ブリスター 1日1回 1回2吸入 (10日間)	【10歳以上】 2キット 1日1回 1回4吸入 (単回) or 1日1回 1回2吸入 (2日間) 【10歳未満】 1キット 1日1回 1回2吸入 (単回)	—
	小児	2mg/kg / 【分1】 10日分 1歳未満の患児は適応外				